

平成28年8月

社会福祉法人梨雲福祉会
特別養護老人ホーム梨雲苑
特別養護老人ホーム 梨雲苑ゆうゆう

梨の風通信

なし かぜ つうしん



撮影場所／宴のお宿 呉羽ハイツ

ごあいさつ

理事長

林 一枝



ごあいさつ

理事長

林 一枝

私の毎日は本当に慌ただしい。梨雲福祉会の理事長になり八年目だが、仕事以外で座ってゆっくりする時間はほとんどなく、お昼ごはんもこの八年は移動のためあまり食べられない。時間に追われるように過ごしており、もう今年に入り半分過ぎてしまつたことに愕然としている今日この頃である。

今年も半分過ぎたこの六月で、梨雲苑は二十五周年を迎えることになった。この数年、苑で行っている社会貢献事業の一環として、カラオケ機器の貸し出しや、それに伴うカラオケ大会を定期的に行っているが、その流れで日頃の感謝を込めてプロの歌手の方による歌謡ショーを開催した。決してイベント好きではないが、我が施設の職員はイベントの段取りに精通していると自負している。その職員たちも、約四〇〇人が集まるイベントは大変気の張る、緊張感のあるものであつただろう。改めて職員の皆様にお礼を申したい。地域の皆様、ご利用者の皆様あっての梨雲福祉会であると、皆が改めて自覚しただらうと思う。

私はバタバタと一年が駆け足のように過ぎていくが、梨雲福祉会の二十五年は、介護に対する社会の意識の変化、高齢者の増加など時代の変化を受けて翻弄された大変な二十五年だったと思われる。先日、二十五年勤続された職員から、前理事長が梨雲苑を始めた時に職員への訓示として、我々は日本一の施設になりたい、と言っていたと聞かされた。私の思いとしては、歌の歌詞ではないが、ナンバーワンよりオンラインを目指していくたいと思つて利用された方が、梨雲福祉会をまた利用したいと思われる。職員がこの施設でどうしても働きたいと思う、地域の方々が梨雲福祉会に何か協力したいと思つていただけようとしているところである。

「歳月不待人」今を大事に生きること。私の五年と利用者様の五年はそれぞれ進むスピードは違うかもしない。たくさんの方々の大変な一日一日に関わらせていただきているという自覺を新たに、今後も邁進していきたい。五年たった時の自分の容貌も大変気になるところだが、こればかりは天にお任せで。

特別養護老人ホーム 梨雲苑



新館



本館



事務所

入居者様が安心して暮らし続けられるよう”自分ならどんな支援を受けたいか”という視点でユニットリーダーを中心に個別ケアに取り組んでいます。

知識、技術、価値を基に入居者様一人一人の自立と尊厳を守り、思いやりを大切にして家族様の信頼にも応えられるよう、質の高い介護サービスに努めます。

私たちは管理部門とホーム職員と事務員と用務宿直員で構成されており、職員がより良く働けるように職場環境を築いています。

また地域の方々が気軽に嬉しいただけるよう、窓口としての機能も果たしています。梨雲福祉会は、地域の福祉向上に貢献できることを目指しています。何でもお気軽にご相談下さい。よろしくお願いします。

入居者様に安心して生活を送ってもらうため、入居前の生活を継続してもらうことを意識しながら支援しています。

居室のしつらえや一人ひとりの生活のリズムの把握など、ご本人、ご家族と相談しながら個々にあわせた関わりを大切にしています。



二十五周年を迎えたが、今までの経験や知識に誇りを持ち、これからも利用者様や家族様、地域の皆様のご要望に寄り添いお応えできるデイサービスを目指します。また、現状に慢心することなく、チャレンジ精神を忘れずに何事にも前向きに取り組みます。



梨雲苑 デイサービスセンター

梨雲苑

ヘルパーセンター

あらたに今井提供責任者が加わり、現在十三名となりました。ただいま一名は育児休暇中です。四月からの新しい訪問先にも徐々に慣れて参りました。笑顔と元気も一緒に皆さまの元にお届け致します。



それぞれが抱えている困りごとを本人、家族だけで悩むのではなく、私たちケアマネジャーが介護保険サービスや地域の支援につなげていく大きな役割を担っていると思います。寄り添い、傾聴の姿勢で私達が身近な存在になれるように努力していきたいと思います。



居宅介護支援事業所 梨雲苑

呉羽地域包括支援センター



四月より新しい職員が増えました。顔ぶれが変わると、気持ちも新たになります。いつまでも初心を忘れず、地域の皆様からのお相談に丁寧に対応していくことを心がけていきたいと思います。

個別相談だけではなく、地域の会合や集まりなどにも、どうぞお声掛け下さい。



暑くなる日が多くなつてまいりました。私達さいさいは、すっかり薄着になりました。この時期さいさいには、ある名物がお目見えします。それは、利用者の皆様の知恵を頂きながら手作りした、梅干しと、梅シロップです。これから食欲が落ちる事もありますが、そんな時にご飯のお供に梅干しを召し上がられたり、毎日の喫茶の時間に、梅ジュースは皆様の元気の源でもあります。梅ジュースは皆様の元気の源でもあります。梅干しと、梅シロップです。これから食欲が落ちる事もありますが、そんな時にご飯のお供に梅干しを召し上がられたり、毎日の喫茶の時間に、梅ジュースは皆様の元気の源でもあります。梅干しと、梅シロップです。これから食欲が落ちる事もありますが、そんな時にご飯のお供に梅干しを召し上がられたり、毎日の喫茶の時間に、梅ジュースは皆様の元気の源でもあります。梅干しと、梅シロップです。これから食欲が落ちる事もありますが、そんな時にご飯のお供に梅干しを召し上がられたり、毎日の喫茶の時間に、梅ジュースは皆様の元気の源でもあります。梅干しと、梅シロップです。これから食欲が落ちる事もありますが、そんな時にご飯のお供に梅干しを召し上がり下さり、大人気です。

さいさいに来られた際は、是非梅ジュースでパワーチャージして行つて下さい。



玄関から「おはよう」のあいさつと大きな笑い声が聞こえ「今日も元気に来られたなあ」とたくさんの元気をもらつています。さいさい居宅は五月からメンバーが一新しました。

今までのメンバーに引き続き、神明・五福を中心にお住まいの地域で生活できるよう支援し、笑顔と愛嬌で元気を提供できるように頑張ります！



さいさい 居宅介護支援事業所



特別養護老人ホーム 梨雲苑ゆうゆう

ゆうゆうホームは若い
ユーニットリーダーを中心
に顔の見える関係づくり、
又、一人ひとりの思いに
寄り添い、よりその人ら
しい時間を送って頂ける
よう支援しています。



私たちのショートステイは地
域最大の受入定員であります。
『利用したい時に利用ができる
『緊急時に受入ができる
』』を対応出来る様に職員一
同より一層の努力に励んでい
ます。



梨雲苑ゆうゆう ショートステイ

長い人生を生きてこ
られた方々の意思と自
由を尊重して、住み慣
れた地域の方々と交流
を持ちながら、在宅で
生活できるよう支援し
ていきます。



梨雲苑ゆうゆう デイサービスセンター

梨雲苑ゆうゆう
居宅介護支援事業所



介護保険の相談窓口として毎日たくさんの方とお会いします。困りごとばかりでなくお孫さんのこと、畠仕事のことなど、楽しい会話からご本人の体調やご家族の思いを知ることもあります。

これからも地域の皆様と福祉を結ぶ架け橋になればと思っています。



ゆうゆうガーデンでは、職員の方の可愛いお子さんをお預かりしております。
今年は知育や食育に力を入れて保育を行っています。
大好きなお散歩をしながら地域の方々と仲良くなったり、安全かつ楽しく過ごせるように努めています。



か？お待ちしております！

六月三日、今年も梨雲苑のリハビリルームが熱気になりました。

毎年、富山市が開催する「パワーリハビリテーション体験会」の会場の一つとして開放しています。年々、参加者数は増えており、マシン体験をされる皆様の姿からも、介護予防に対する関心の高さがうかがえます。これからも、介護予防を提供する施設として、皆様の健康づくりのお手伝いができるよう取り組んでいきたいと思います。まだ体験されたことのない方も是非、一度体験してみませんか？お待ちしております！

8月8日の日

六月三日、今年も梨雲苑のリハビリ

カラオケ大会

紙皿短歌

梨雲苑ゆうゆうデイルームがひときわ賑わうイベントが「カラオケ大会」です。

梨雲苑のカラオケ機器をご利用いただき長寿会や団体の皆様を中心に春と秋に開催しており、五月は第4回大会となりました。

回を重ねることに心待ちにしてくださっている方も多くなり、今回は二十団体、約一四〇名が参加されました。

梨の香や
心楽しく
カラオケを
唄をかぎり
唄をうたえ
竹笙

毎回必ずカラオケ大会中に
短歌を作つて披露して
いただいています。



日頃から歌に親しみ、仲間との絆を深めてい
らっしゃる皆様の熱い気持ちは会場いっぱいにあ
ふれ、手拍子や応援の声がやみません。職員も一
緒に盛り上がり、楽しい時間となりました。

これからも地域の皆様の集いの場として楽しい企画をご提案していくたいとthoughtっています。

三月より一般社団法人新エネルギー導入促進協議会殿より補助を頂き、梨雲苑では120kW、梨雲苑ゆうゆうでは80kWの太陽光発電システムを導入し稼動しております。

発電した電力は施設を運営する為の電気として活用しています。梨雲苑と梨雲苑ゆうゆうは災害に対応できる施設運営に努めるとともに、より一層省エネにも取組んで参ります。



導入 太陽光発電

地域と共にあゆみ続ける

～創設25周年を迎えて～

平成三年バブル経済が崩壊し景気の先行きが見えない不安定な経済情勢の中で梨雲苑が創設されました。今年二十五年の節目を迎え、創業者である西能正一郎がいつも口にしていた「地域の役に立つがならよから、職員が喜ぶがならよから」との想いに沿った運営、役割が果たせているのだろうか、そんな思いから振り返ってみたい。

二十五年前、梨雲苑のまわりは梨畠ばかりでした。しかしこの地に必要な施設として社会福祉法人とともに設立されました。当時、老人福祉法の下で運営する社会福祉事業として行政からの補助金で運営、しかもデイサービスが担当する校区は富山駅周辺から西側を受け持つという決して楽ではない状況でした。

一年後には認知症デイサービスや在宅介護支援センターの引き受けにともないホームヘルパー事業を開始、特別養護老人ホームのほうも五十床から八十床に増床し、ショートステイも二十床作って高齢者介護に幅広く対応できる施設としてあゆみ始めました。

平成十二年、介護保険制度がスタートし高齢者介護を取り巻く環境は大きく変わりました。これまでの措置制度から、

利用者が介護を選び契約する制度が始まりました。サービスを提供する事業者が医療や福祉だけでなくいろんな産業を母体とする民間参入により、これまで閉鎖的といわれていた介護業界でしたが、ハードからソフト面まで高い品質を問われ、比較されるようになったわけです。

呉羽地域でも複数の介護サービス施設

が開設され、それぞれが個性や特徴を持つてサービス提供に努めていました。そんな中でサービスの回数や時間、送迎など細かな受入れ調整に、いつもの「利用する人が喜ぶがならよから」との一言に押され、全ての利用者を受入れたのはまだ記憶に新しく、梨雲苑が福祉施設として培ってきた技術や信頼が地域の皆さんに認められた瞬間だった



度をたかめることに務めてきました。二十年以上にわたる梨雲苑の運営は地元、地域の皆さんのおかげであるとの使命感であり、呉羽会館にて開催した子育てをテーマにした文化講演会や「虹の会」歌謡ショーは梨雲苑の地域貢献活動として位置付けています。



今年、二十五周年を迎えた記念事業は、是非とも地域の皆さんと一緒に喜び、楽しめる内容に企画しました。それが昨年好評だった「虹の会」の協力でプロ歌手の歌と健康体操の歌謡ショーです。でかけるだけ多くの地域住民に来場頂き、一緒に祝いたいとの思いから企画を進めてきました。六月十五日「創設二十五年記念歌謡ショーや」は来場者四〇〇余名、地域の皆さんに喜んでもらえて大盛況でした。本当にありがとうございました。

現在、高齢化の波は急速に進んでいて、この呉羽地域でも既に四人に一人は六十五歳以上という構図になっています。一人暮らしや認知症など介護は個人の問題ではなく地域の課題となつてきました。

高齢になつても孤立することなく住みなれた地域で明るく元気に、みんなが生きいきとかがやく地域づくりを今後も梨雲苑は目指しています。

地域かがやきアドバイザー 深野 祐次

創設25周年記念

歌謡ショー



黒澤 博さん

ふるみ まやさん

山本長寿会

中山 雅子さん

梨雲苑からは月2回カラオケ体操として機器の貸出しを利用しています。歌謡ショーには体操のメンバーみんなで行きました。広い会場がいっぱいになるほど的人に大変驚きました。安倍里蓮子さんがとても若くて秘訣を聞きたいくらいでした。安倍さんと黒澤さんの歌はとても懐かしくて感激しました。



あねくら桜台ゆうゆう会

加納 三樹夫さん

長寿会で年に数回、梨雲苑のカラオケ機器を借りて楽しんでいます。歌謡ショーは3人の歌手に豪華な雰囲気を楽しめました。また、同町内の柳川光夫さんは「ふるみまや」さんの美声、声量に感動したことや「安倍里蓮子」さんの衰えない懐かしい歌声に感激しましたとのお声を頂きました。



安倍 里蓮子さん

矢後 刚子さん

梨雲苑から連絡とチラシを頂き、日頃から集まっている老人クラブの女性たちに話したところ瞬く間に十数名が手を挙げました。遠慮がちにお迎えバスの相談をしたところ「何人でも」と快諾され安心しました。当日は座席も用意されていてゆっくり歌謡ショーを楽しめました。帰りのバスでは誘った皆さんと「また今度も」と一緒に喜び、よかったです。



本郷白寿会



梨雲苑二十五周年を支えてくれた地域の皆さんとともに祝いたく記念歌謡ショーを開催いたしました。案内チラシの配布、回覧に予想を超える多くの皆さんにご来場頂き、一緒にショーを楽しむことができました。

川西長寿会 三谷 芳治さん

町内の回覧みて安倍里蓮子さんに懐かしい思いで行きました。この冬、長寿会の運動不足を補うために梨雲苑のカラオケ体操指導を利用しました。歌謡ショーではプロの声量に感動し、感情のこもった歌い方を学びました。しかし今回は体操が多くて疲れました(笑)



追分茶屋の松平義磨さんは、「バラエティーで十分に楽しめた。大勢の皆さんが来ていたので体操には会場が少し狭かった。」とのご意見も頂きました。ご来場の皆様には大変な混雑にもかかわらず、最後までご観賞頂きましたこと、心より感謝しています。おかげさまで感動と感激の歌謡ショーでした。

今後も梨雲苑は地域の皆さんとともに迎える高齢化に備えていきたいと思います。






**手のひら
マルシェ**



無人売店「てのひらマルシェ」が開店いたしました。梨雲苑は一月二十二日からゆうゆうは五月十六日からです。

「ワンコインショップ」一枚の硬貨百円で買える物ができます。入居者様・ご家族様・デイサービスの利用者様・職員からとても好評を博しています。皆さんが売店の前で思わず足を止めて、笑顔で会話が弾む馴染みの場でありたい。また、林一枝理事長は売上金の一部を地域福祉のため積極的に災害支援をされています。

改修工事



六月中旬より特別養護老人ホーム梨雲苑本館二階の改修工事が開始されました。

今までの多床室（大部屋）から個室ユニット化する工事となります。

完成は平成二十九年一月を予定しております。工事期間中は皆様に大変ご不便をお掛け致しますがご理解とご協力を頂きますよう何卒宜しくお願い申上げます。

完成予想図




発行所

社会福祉法人 梨雲福祉会
特別養護老人ホーム 梨雲苑
特別養護老人ホーム 梨雲苑ゆうゆう

発行人

理事長 林 一枝
〒930-0142 富山市吉作1725
TEL (076) 436-2002
FAX (076) 436-2165
E-mail:riun1725@ybb.ne.jp
URL: http://www.riunen.com

熊本地震義援金

当法人で入居者様及び利用者様・ご家族様・職員から頂きました義援金を

社会福祉法人 富山県共同募金会宛に 297,410円

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会宛に 60,464円

送金させていただきました。この活動は現在も継続しています。今後も皆様のご協力を宜しくお願い致します。

編集後記

今回の広報誌は職員からの提案もあり四年ぶりに各部署職員の写真撮影をした。

当時は一六〇人前後であつた職員も、現在は二一〇人を超えるまでに増えた。勤務等の都合により写真の中に入ることが出来なかつた職員を案ずる気持ちと、職員皆が笑顔で写真に収まってくれた事が幸せであつた。

神田

